

ひと咲く、むら咲く、まちが咲く



神 河町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型のまちです。面積は202.27km²で、その8割を山林が占め、千町ヶ峰を筆頭に千ヶ峰・暁晴山など、1,000m級の山々に囲まれ、峰山・砥峰高原は関西地方でも有数の高原地帯となっています。平野部分は、小田原川、市川、越知川の河川沿いに集落が点在しています。その河川には、「ほたる」や「あまご」などの生き物が生息しています。



北部は朝来市。東部は多可町。南部は市川町、姫路市。西部は宍粟市と接し、播磨と但馬を結ぶ地域として発展してきました。南北方向にJR播但線と国道312号線、播但連絡自動車道が通り、南部の福崎町には、中国縦貫自動車道が位置し、姫路市内まで約40分、京阪神まで約90分で着きます。



「ふるさと」は、誰もがみんなもっています。戸うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川…と唄われる日本の原風景がこの「神河」にはあります。ここに住む親や家族、友人。そして、自分を取り巻く環境や歴史・文化を全部をひっくるめて「ふるさと」です。私たちは、この「ふるさと神河」を誇りと愛着をもって、これからも守り育てていきたいと思っています。

◆「カーミン」は、基本型と3つの展開型の合計4つのポーズから成り立っています。基本型(逆型も同様)の優先度を高く設定していますが、以下に示すように正しくご使用ください。
イラストのそばに出来るだけ、神河町マスコット「カーミン」とクレジットを入れてください。

【基本型】



「カーミン」の顔は、なんとなく、神河町の形をしています。名前は、神河町の「神」をもじって付けました。性格は、恥ずかしがり屋だけど、神河町をすごく愛していて、神河町のために頑張る、頑張り屋さんです。祭りやイベントが大好きで、神河町をもっと知ってもらえるように、ガンバってネ。

名付け親：藤原真央さん

神河町マスコット「カーミン」